

タイピックだより

5月号

2019.4.20 発行

Vol.76



「平成」から「令和」二首は大宰師(ださいへ)と新しい時代が始まるのそちとして九州大宰府に赴任していた大伴旅人(おおとも)のたびとが730年(天平二年正月十三日)に開いた梅見の宴の歌で、この序文は当時中国で流行していた王羲之の『蘭亭集序(らんていしゅうのじょ)』を模した典型的・儀礼的な歌であるものの、元の歌より世事人生についての表現が減らされ、よ

この「梅花の歌三十

の表現が減らされ、よ

り自然を愛し人生を楽しむ内容となっているのだそうです。梅花の歌の序文の続きには「庭に新蝶舞い、空に故雁(こがん)帰る」とあります。新しい蝶が舞い年越しした雁が帰るという意味で厳しい冬が終わって新しい春が来たことを表現しているとともに世の移り変わりを示しているようにも感じます。

この機会に心機一転

してみてもいいでしょうか。年号が変わると1年ではなく元年となる慣習も、単に数字的な意味ではなく、元年が持つ「始まりの年」という意味を強調していることです。

令和が良い時代となりますように、私たちも常に何事も自分ごととして励みたいものです。



珈琲所
コムズ珈琲店

益田あけぼの店

益田市あけぼの西町 9-13

☎0856-25-7766

昼コメ
しませんか?

くつろぎの場所日本一を目指します。

何時間おられても笑顔でお応えします。

店舗限定

好きなドリンクご注文で

昼コメ プレート

平日限定 11:30 ~ 12:00 まで




たままレタスサンド

A ●たままレタスサンド
●6種類の野菜サラダ
●コメキ2個

ドリンク料金+500円

小倉ホイップサンド

B ●たままレタスサンド
●6種類の野菜サラダ
●コメキ2個

ドリンク料金+430円

小倉ホイップサンド

C ●小倉ホイップのサンド
●6種類の野菜サラダ
●コメキ2個

ドリンク料金+500円

小倉ホイップサンド

D ●小倉ホイップのサンド
●6種類の野菜サラダ
●コメキ2個

ドリンク料金+430円

必要とされる人へ、必要とされる会社へ



株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号

Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番

http://www.typic.jp

社長の つぶやき



「天地、内外ともに平和が達成される」との意味を込めた『平成』が終わり、「明日への希望と共に、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」という願いを込めた『令和』がスタートしようとしている。

年号が昭和から平成に変わった直後はバブル経済の絶頂期であったが、すぐに景気も衰え、阪神淡路大震災や東日本大震災など数多くの自然災害が発生した。新年号になってからは災害が発生しないように、そして一人ひとりが大きな花を咲かせることができる平和な日本になってほしいと願っている。

本欄に何度も書いてきたが、今年も東日本震災地を訪問してきた。これは、人間学を学ぶ『致知』に南三陸のホテル観洋が震災後に南三陸の被災者を受け入れた記事を読み、少しでも経済的援助をしたいと、震災後1年目から始めた震災地訪問が社員旅行も含めて今回で9回目となった。今回は、昨年から就航している出雲空港から仙台へ飛び、仙台からレンタカーで北進し陸前高田、気仙沼経由で南三陸のホテル観洋に宿泊し、翌日は石巻を見学して一路福島

県いわき市広野町から国道6号を北進して、富岡町・双葉町・浪江町などを見ながら仙台へ宿泊した。

今回の震災地訪問では感じたことは「1年間でこんなにも変わるのか」ということである。

各地で5階建て復興住宅あるいは新築の個人住宅が見られるようになった。堤防工事もすすみ、海の近くにあった道路も

山手側に新設されていて8年前の風景とは格段の復興状況であった。「ここ、前にも通ったよな。景色が変わったから分かったから分かった」と言

いながら回った。奇跡の一本松



で有名な陸前高田では、昨年は海岸沿いに土が山のように積まれていたが今年は嵩上げも終わり、見た目には平坦に見えた。気仙沼では復興住宅が多くみられた。南三陸町では「さんさん市場」を見学したが、夕方5時を過ぎていたので閑散となっており、川の向こうに見える防災センターが色鮮やかにぬられていた。南三陸町は震災前の2011年2月時点では5352世帯、人口1万7666名お



られたが震災時に620名が亡くなられ211名の方が行方不明となり、3321戸(中心部の約8割、全体の約62%が流失が被害にあわれた。2018年4月現在は4582世帯、1万3106名となっており、仮設住宅入居者は47世帯、146名となっているが、現在仮設住宅は全廃になっているようである。

翌日は、河口から4キロ離れた場所にある北上川を遡上してきた津波によって全校108名中、児童74名が犠牲となった石巻市立大川小学校を訪問したが、校舎全体が黒ずんでおり1年でこんなに変わったのかと言いつつ亡くなられた方々のご冥福をお祈りした。

― 次号に続く ―

わが社の ほっとニュース



献血で身近なボランティア

4月22日、タイピックに献血車がやってきました。

若い世代の献血者が減少傾向にあるということで、病気やけがの治療のために必要な血液が不足しているそうです。社長をはじめとして有志で協力させて頂きました。社長はなんと50回目ということで、記念品を頂いていました。

大切な命を救える身近なボランティア。年に一度ではありますが、これからも続けていきたいと思っています。





特集 運と徳 印刷事業部 寺井 政徳

今まで約50年生きてきた中で、自分は運が良いとか徳があるなどと思っただことはほとんどない。どちらかと言えば、平均値よりも下で一般的に運も徳も無い部類の人間だと思う。先人の方たちは一致して運と徳は相関していると言っている。その人が持っているあるいは培ってきた徳分に応じて、人はそれにふさわしい運命に出逢っていくとある。先ほども言ったが、自分には運も徳も持ち合わせているとは思っていません。どちらかと言えば泥くさくただひたむきに努力して来たという風に思っている。た、この記事にある「まずやるべきことをやる。それによってどんな報酬があるかを考えるのは後回しにする」。

困難に遭う。失敗する。そういう時は自分に原因がないかを反省する。や松下幸之助氏の「何くは物事がうまくいった時は皆のおかげ、うまくいかなかった時はすべて自分の責任」と思っていた「この言葉はこれからの人生の中で、心の中にとめておきたい」と思った。

運を高めるとか徳を積むとかでは

なく、今自分のいる場所ととにかく精一杯、がむしゃらに努力をし続けることが、今の自分もこれからの自分にも良いのだと改めて思った。

磨すれど磷がず O事業部 杉内 崇

建築家の隈研吾氏と日ハム監督の栗山英樹氏の対談を読んで印象に残っているのが「期限があるのはとても幸せなことだ」という言葉です。期限があるからこそ、その中で結果を出さなといけないと隈さんが言われています。私は仕事に対して限られた時間の中で、全力で取り組んでいるのだろかと反省させられました。時間が無い事を理由にして逃げてはいないだろうか。これから仕事に対して一つ一つ全力でやってみようと思いました。

それと物事に対して「何でこんなことをやらないといけないのか」と思う人と「これは自分にとって何かのチャンスになるかもしれない」と考える人とは同じことを体験しても全く逆の結果が生まれる。とも言われています。何かに対してポジティブにとらえるか、ネガティブにとらえるか、これは人生の結果に大きく変化をあたえる事だと思っています。私は決してポジティブな人間ではないので、少しずつでもポジティブな考え方、行動をしていきたいと思いました。

磨すれど磷がず 印刷事業部 河野 晶

来年の東京オリンピックパラリンピックでの会場となる新国立競技場の設計に携わった建築家の一人、隈研吾さんと、現北海道日本ハムファイターズ監督、栗山英樹さんの対談記事です。

栗山監督があの大会翔平選手を投手と打者の二刀流で起用した事は有名です。今までの野球の世界では考えられない事で、当時のスポーツニュースで一部の解説者がどちらかに専念しないと難しいと批判していたのをよく覚えています。でも今ではメジャーで実現しています。今回の致知のテーマ「運と徳」でいえば、大谷選手は栗山監督じゃなかったら今のようになつていなかったかもしれない。運とひたむきに努力して頑張った結果だろうと思います。

そして今回の対談で隈さんは運を掴むには何事もポジティブに受け止める姿勢が大事と言っています。一所懸命であることが大切で明るく前向きに頑張っていくと自然と運が呼び寄せられる。仕事をする上で大切な事は「コミュニケーション」でお互い信頼し合い、仲よくする「事だ」と自分でも心掛けるようにしていきたいと思っています。



誕生日の決意

O事業部

吉松 一彦

このたび誕生日を迎え、33歳となりました。ついこの間20歳になったばかりの



ような気もしますが、段々と時間が経つのが早くなっているように感じます。このままではあっという間に40歳、50歳...、ただ歳を重ねていくだけになってしまいそうです。月日が過ぎていくスピードが早くなってきた分、一日一日を今まで以上に大切にしなければならぬと改めて感じています。ただ歳を取るだけではなく、年齢に応じた成長をしていかなければならないと常々思ってはおりますが、なかなか自分の成長というものを実感できないまま今日に至っています。

私が誕生日を迎えるこの5月から元号が平成から令和へと変わり、ここから新しい時代が始まります。これはまた、何かを新しく始める、何かしらの決意を持つというにはこれ以上ないタイミングではないかと思っています。新しい令和の時代とともに自分の人生もここから新しいスタートを切り、10年後、20年後には、今と比べて少しでも成長できたと思えるように一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。



ゆっくりやさしいパソコン教室

山菜採りで春を満喫！

益田教室 清水 壮一

ぬけるような青空の下、春恒例の「山菜採り」を今年も開催しました。場所は、益田市の山間部にある、インストラクターの松田の広大な農地。山の上にあるので、見上げると広がっている青空が心を開放してくれます。

当日の参加者は30名。10時に集合して、ワラビとタケノコをみなさん夢中になって採りました。

ワラビは起伏に富んだ農地のいたるところに生えており、みなさんそれぞれ思い思いの場所に散らばって買い物袋一杯に採っていました。

タケノコは、農地の中央部分にある竹林に生えています。まだ小さめのタケノコでしたが、土から少し頭をのぞかせたタケノコを見つけては、鍬を使って一所懸命掘り起こしていました。



スリッパ飛ばし大会



掘ったタケノコは、参加者みんなにいきわたるように、「タケノコ争奪スリッパ飛ばし大会」で一番遠くに飛ばした人から欲しいタケノコをもらっていくことに。靴を脱いでスリッパをはくのですが、靴下まで脱いで気合たっぷりについに挑む方がいたり、途中で向かい風が強くなり高く蹴り上げたスリッパが風で押し戻されて遠くに飛ばなかったりと、大いに盛り上がりました。

お昼は、スタッフが用意したお弁当を、みなさんと一緒に食べました。

お弁当は、タケノコご飯、山菜の天ぷら、タケノコとワラビの煮物と酢の物の「三段重」になっていてみなさん大喜び。春の恵みを堪能した楽しい日になりました。

お弁当を詰める作業は生徒さんも手伝ってくださって、そして、手作りのいちご大福の差し入れもありました。

ちょっと休憩

春の里山を満喫して笑顔一杯



生徒さんも自主的にイベントの盛り上げ役を買って出てくださいるところが私たちのパソコン教室の特色です。ご自分の特技などを活かしていただける場として活用できます。

自分の出番を作る場所。それがタイピックのパソコン教室です。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします

シニア・初心者のためのパソコン教室です

- 益田教室 島根県益田市常盤町 7-3 株式会社タイピック1F
- 浜田教室 島根県益田市相生町 1391-8 シティパルク浜田3F
- 廿日市教室 広島県廿日市市木材港南 3-14 安野産業株式会社2F
- 萩教室 山口県萩市土原川島 445 萩ショッピングタウンG棟
- 宇治教室 京都府宇治市大久保町上ノ山 32-2 石田ビル1F